

2025年度（R7年度）

環境経営レポート

活動期間：2025年4月～2026年3月



NGKファインモールド株式会社

発行日：2026年7月10日



【 目次 】

◆計画の策定

1. 組織の概要、対象範囲	．．．．．	P- 1
2. 環境経営方針	．．．．．	P- 2
3. 環境経営目標及び実績と評価	．．．．．	P- 3 ～ 4
4. 環境経営計画（取り組み内容と評価）	．．．．．	P- 5

◆計画の実施

5. 環境経営計画に基づく実施体制	．．．．．	P- 6
-------------------	-------	------

◆取組状況の確認

6. 実績推移	．．．．．	P- 7～8
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	．．．．．	P-9

◆全体の評価と見直し

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	．．．．．	P-10
-----------------------	-------	------

◆その他 活動トピックス	．．．．．	P-11
-----------------	-------	------

◆計画の策定

1. 組織の概要、対象範囲

(1) 事業所 及び 代表者氏名

事業所名 : エヌジーケイ・ファインモールド株式会社
代表者 : 代表取締役社長 本林 徹也

(2) 所在地

本社 : 愛知県半田市港町四丁目 5 番地 6
中部営業所 : 愛知県名古屋市瑞穂区新開町8-18
関東営業所 : 埼玉県川口市栄町3-3-13
群馬事務所 : 群馬県太田市薮塚町1286-9
関西営業所 : 大阪府大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 3 号 肥後橋レックスビル7 階

(3) 環境管理責任者

安全品質環境部長 : 森本 県一
環境経営レポートに関するお問い合わせ先 T E L 0569-23-5885 F A X 0569-23-5974

(4) 事業概要

プラスチック成形用金型の設計・製造・販売、タイヤ成形用金型の設計・製造・販売、
金型部材の販売

(5) 事業規模

製品出荷額 : 38.6億円 (2025年4月～2026年3月)
主要製品生産量 : 337.2 t (")

	本社エリア	営業所エリア			
		中部営業所	関東営業所	群馬事務所	関西営業所
従業員	76名	18名	9名	0名	3名
延べ床面積	7,294㎡	243㎡	196㎡	47㎡	109㎡

(2026年3月現在)

(6) 対象範囲

認証・登録範囲

登録事業者名	エヌジーケー・ファインモールド株式会社		
対象事業所	本社エリア		2018年11月に認証取得
	営業所エリア	中部営業所	2020年11月に認証取得
		関東営業所	2021年11月に認証取得
		群馬事務所	
		関西営業所	
業務	・プラスチック成形用金型の設計、製造、販売 ・タイヤ成形用金型の設計、製造、販売 ・金型部材の販売		

2. 環境経営方針



環境経営方針

「高い品質の製品とサービスを通じて社会に貢献する」ことを企業理念にしている
NGKファインモールドは、金型の設計・製造販売、金型部材販売等の事業活動を通じ、
地球環境問題に貢献していくものとします。

- 1 環境に関連する法律、条例、その他の要求事項を順守します。
- 2 事業活動において、不良削減・生産性改善および省エネ設備への切替を通して、
環境負荷の低減に努めます。

(1)CO2排出量の削減に取り組みます
(2)廃棄物の削減とリサイクル化に取り組みます
(3)事務用品のグリーン調達に取り組みます
- 3 当社の特徴を活かし、お客様の環境負荷低減に貢献できる製品を提案していきます。
- 4 環境経営の継続的改善を推進します。
- 5 従業員の環境意識の向上を図るため、教育、地域貢献活動を行います。

制定日： 2018年4月1日
改定日： 2024年4月1日
見直し日： 2025年4月1日

代表取締役社長

本林 徹也

3. 環境経営目標及び実績と評価

(本社工リア) 金型統括部、機材技術部、総務・安全品質環境部

○：達成 X：未達成

環境経営目標		単位	基準年度	前年実績	目標・実績・評価					
			2023年度実績	2024年度実績	2025年度 目標	2025年度 実績	達成評価 対基準年度	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
1	二酸化炭素総排出量の削減	生産高比 t-CO2/百万円	1.21	1.35	1.25 ※3	1.14	○	1.09 ※3	1.01 ※3	0.97 ※3
		基準年度比 %	-	11.4%	3.3%	-5.6%	○	-9.8%	-16.7%	-19.9%
		排出量 t-CO2/年	1,109	1,111	1,498 ※2	1,117	×	1,110 ※2	1,158 ※2	1,177 ※2
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	2,318,033	2,328,223	3,140,500 ※1	2,351,116	×	2,357,500 ※1	2,434,500 ※1	2,474,500 ※1
	1-2 LPG使用量の削減	使用量 kg/年	12,062	11,492	15,700 ※5	9,909	○	11,000 ※5	11,000 ※5	11,000 ※5
	1-3 ガソリン/軽油 使用量の削減	使用量 L/年	3,904	3,339	3,810	3,612	○	3,590 ※5	3,590 ※5	3,590 ※5
2	廃棄物の削減	生産高比 t/百万円	0.15	0.15	0.13 ※4	0.19	×	0.14 ※4	0.12 ※4	0.11 ※4
		基準年度比 %	-	1.6%	-12.8%	26.6%	×	-9.3%	-19.3%	-24.0%
		排出量 合計 t/年	138	126	157 ※5	189	×	139 ※5	139 ※5	139 ※5
	2-1 埋立廃棄物	排出量 t/年	3	2	3	2	○	3	3	3
	2-2 リサイクル廃棄物		56	49	65	66	×	58	58	58
	2-3 有価物（金属、樹脂）		79	74	89	121	×	78	78	78
3	水使用量の削減	使用量 m3/年	1,003	1,094	1,180 ※5	1,271	×	1,100 ※5	1,100 ※5	1,100 ※5
		基準年度比 %	-	9.1%	17.7%	26.8%	×	9.7%	9.7%	9.7%
4	社会貢献活動への参加	活動回数/年	2	2	2	2	○	2	2	2

※1 電力使用量の目標は、過去平均生産高1千万円当たりの電気使用量 * 各年度予算生産高で算出した値

※2 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※3 生産高比CO2排出量は 年間CO2排出量 / 年間生産高 の値

※4 生産高比産廃排出量は 年間産廃排出量 / 年間生産高 の値

※5 LPG、ガソリン/軽油、産廃排出量、OA用紙、水は過去3年平均の値

・二酸化炭素排出係数

電力：0.459kg-CO2/kWh（中部電力2022年度 調整後排出係数）、LPG：3.00kg-CO2/kg（2022年度環境省HP公開値）、
ガソリン：2.32kg-CO2/kg（2022年度環境省HP公開値）、軽油：2.58kg-CO2/kg（2022年度環境省HP公開値）

(営業所エリア) 中部営業所、関東営業所・群馬事務所、関西営業所

○：達成 X：未達成

環境経営目標		単位	基準年度	前年実績	目標・実績・評価					
			2023年度実績	2024年度実績	2025年度 目標	2025年度 実績	達成評価 (対基準年)	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
1	二酸化炭素総排出量の削減	売上高比 t-CO2/百万円	0.014	0.015	0.015 ※3	0.016	×	0.015 ※3	0.015 ※3	0.014 ※3
		基準年度比 %	-	8.0%	3.5%	12.8%	×	5.7%	3.6%	1.5%
		排出量 t-CO2/年	32.3	34.1	34.1 ※2	32.5	×	31.4 ※2	31.4 ※2	31.4 ※2
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	45,719	45,775	47,500 ※1	44,963	○	41,800 ※1	41,800 ※1	41,800 ※1
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L/年	5,309	6,206	5,940 ※5	6,395	×	5,680 ※5	5,680 ※5	5,680 ※5
2	お客様環境負荷低減商品の 拡販	対売上目標達成率 %	96.7%	92.7%	100%	157%	○	100%	100%	100%
3	水使用量の削減	使用量 m3/年	245	251	240 ※5	257	×	228 ※5	228 ※5	228 ※5
		基準年度比 %	-	2.2%	-4.1%	5.0%	×	-6.9%	-6.9%	-6.9%
4	社会貢献活動への参加	活動回数/年	3	3	3	3	○	3	3	3

※1 電力使用量の目標は、過去3年の平均電気使用量で算出

※2 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※3 売上高比CO2排出量は 年間CO2排出量/年間売上高 の値

※4 お客様環境負荷低減商品拡販の対売上目標達成率は100%以上で目標達成

※5 ガソリン/軽油、OA用紙、水は過去3年平均の値

・二酸化炭素排出係数

電力：中部営業0.459kg-CO2/kWh（中部電力2022年度 調整後排出係数）

関東群馬営業0.390kg-CO2/kWh（東京電力2022年度 調整後排出係数）

関西営業0.434kg-CO2/kWh（関西電力2022年度 調整後排出係数）

ガソリン：2.32kg-CO2/kg（2022年度環境省HP公開値）

軽油：2.58kg-CO2/kg（2022年度環境省HP公開値）

4. 環境経営計画（取組内容と評価）

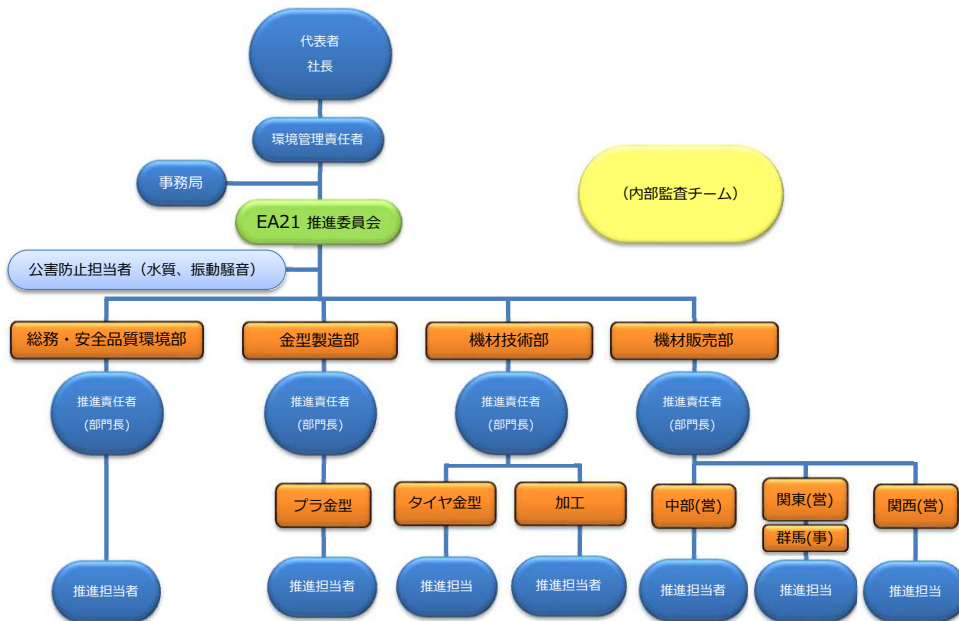
○：達成 △：一部不十分 ×：未達成

環境経営目標		担当部署	取組み内容	取組結果の評価
1	二酸化炭素総排出量の削減	各部門	・ エアコン温度、台数適正管理（全部門） ・ 未使用室のエアコンOFF活動（全部門） ・ 分解点検工数の削減（プラ） ・ 停止設備電源off活動（プラ、タイヤ） ・ 省エネエアコンへの切替（プラ、タイヤ） ・ 残業時間の削減（総務、各営業所）	×
	1-1 電力使用量の削減			
	1-2 LPG使用量の削減	タイヤ製造部門	・ 品質活動による不具合再製作ゼロ	○
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	各部門	・ エコ運転の実施（全部門） ・ web会議による無駄な車移動削減（全部門） ・ 電動リーチの活用（タイヤ） ・ ITツール活用による拡販推進（各営業所） ・ 長距離 最新ハイブリッド 社用車の優先活用（各営業所）	△
2	廃棄物の削減	プラ、タイヤ製造部門	・ 定期設備保全実施（プラ、タイヤ） ・ 品質活動による不具合再製作ゼロ（プラ、タイヤ）	×
3	お客様環境負荷低減商品の拡販	各営業所	・ ハイスサイクル向けベリ銅 ・ ITツール活用によるお客様へのPR（各営業所）	○
4	水使用量の削減	各部門	・ 適正水量の励行 ・ 節水の意識向上	×
5	化学物質の適正管理	プラ、タイヤ製造部門	・ 新規品のSDS管理 ・ SDS最新版管理の徹底	○
6	社会貢献活動への参加	各部門	・ 半田市アダプトプログラム対応（本社エリア） ・ 営業所周辺等の美化活動（営業所エリア）	○

◆計画の実施

5. 環境経営計画に基づく実施体制

環境経営マネジメント 組織体制

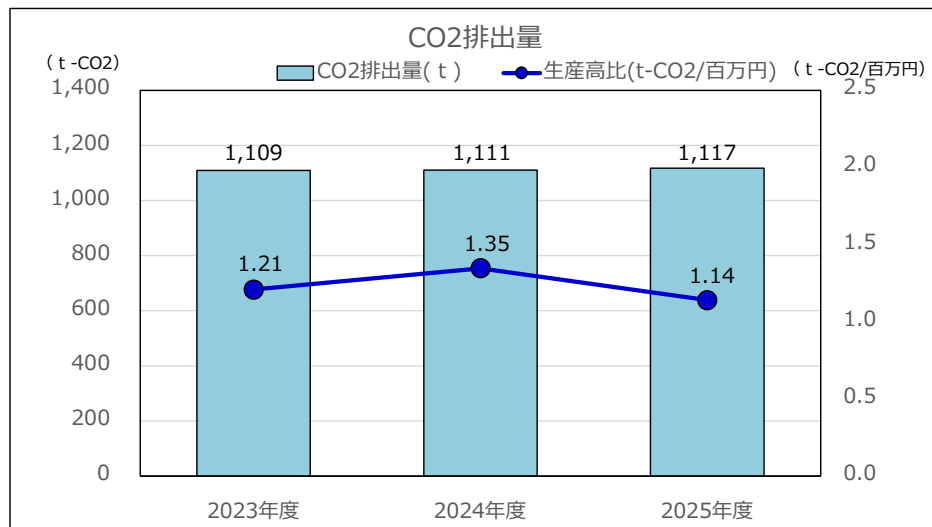


役割・責任・権限

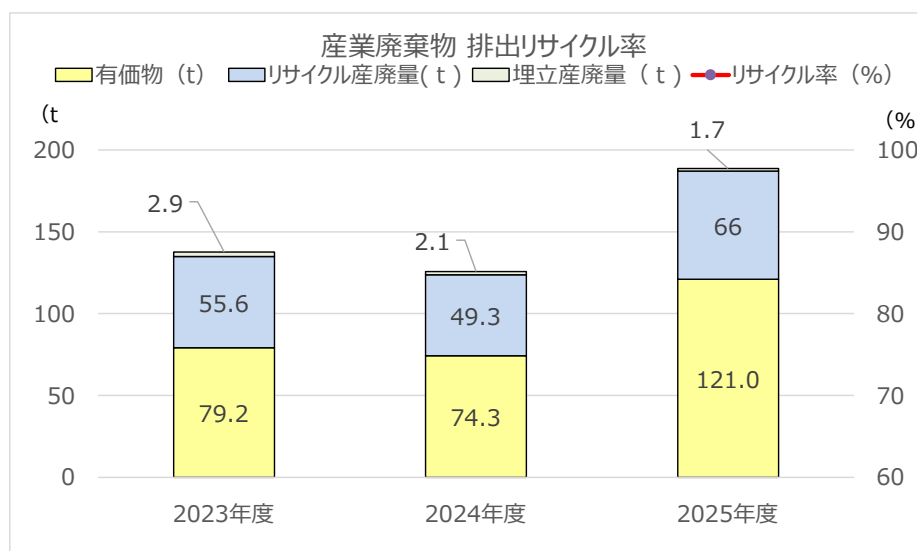
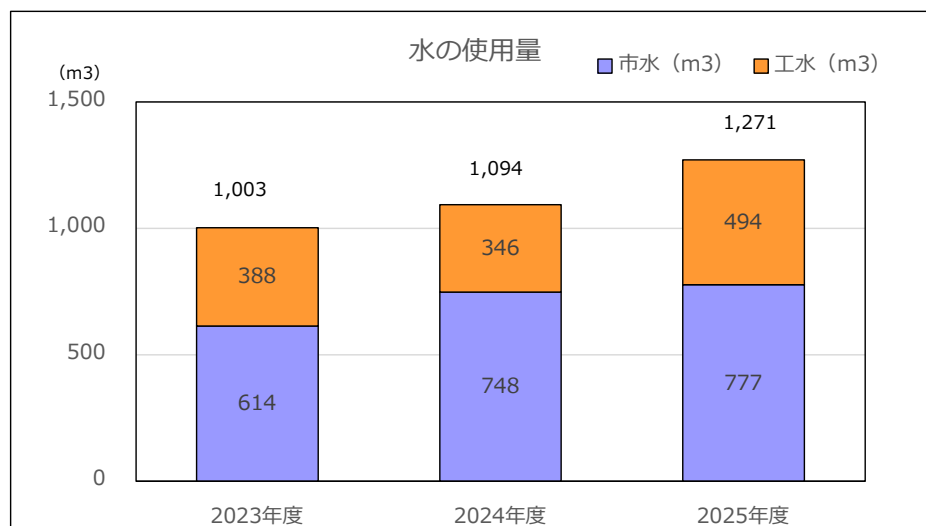
	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営責任者 - 環境経営方針の策定、見直し 及び 全従業員へ周知 - 環境経営システムの実施に必要な資源（人、資金等）の準備 - 環境管理責任者 と 公害防止管理者（有資格者）の任命 - 環境経営システム全体の評価 と 見直し の指示
環境管理責任者	- 環境経営システム の構築、実施、運用 及び 管理 - 環境経営の運用実績、改善提案 を代表者へ報告 - EA21推進委員会の主宰 - 環境管理文書の確認と承認 - 環境関連法規等の取りまとめ表 の承認 - 環境経営目標、環境経営計画書 及び 環境経営レポートの承認
環境事務局	- 環境管理責任者 の支援、事務局業務 - 環境負荷の自己チェック 及び 環境への取り組みの自己チェック の実施 - 環境関連法規等 最新版管理 - 環境管理文書作成 と 管理・周知 及び 教育・訓練 - 環境経営の実績集計 - 環境経営レポートの取りまとめ
公害防止担当者	水質、騒音振動に関する施設の 運用・管理
E A 2 1 推進委員会	- 環境経営計画の実施、運用 及び 管理に関する 報告 と 審議 - 環境経営情報の伝達
推進責任者（部門長）	- 部門内における環境経営方針 の周知 - 部門内に関連する環境経営計画 の策定・実施 - 部門内の従業員に対する教育訓練 の実施 - 部門内に必要な手順書 の作成、手順書による実施、及び 管理 - 部門内の想定される事故、緊急事態への対応の為の手順書の作成、訓練、及び 管理 - 部門内の不適合に対する対策、処置
推進担当者	- EA21推進委員会 の参加 - 部内への環境経営推進
全従業員	- 環境経営方針の 理解 と 環境への取り組みの重要性を自覚 - 環境経営への 提案、活動に参加
（内部監査チーム）	環境経営に関する内部監査 の計画、実施 及び 報告

6.実績推移

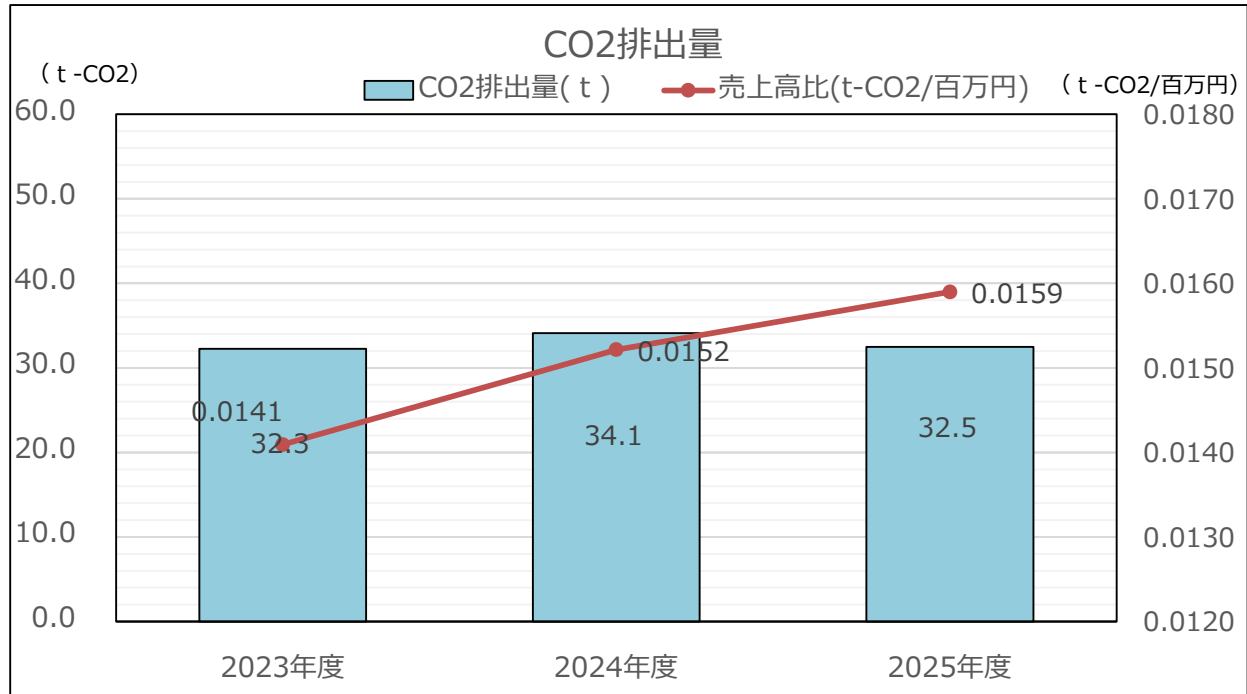
本社エリア



* 2023年度より二酸化炭素係数は0.459kg-CO2/kWh（中部電力2022年度 調整後排出係数）に変更



営業所エリア

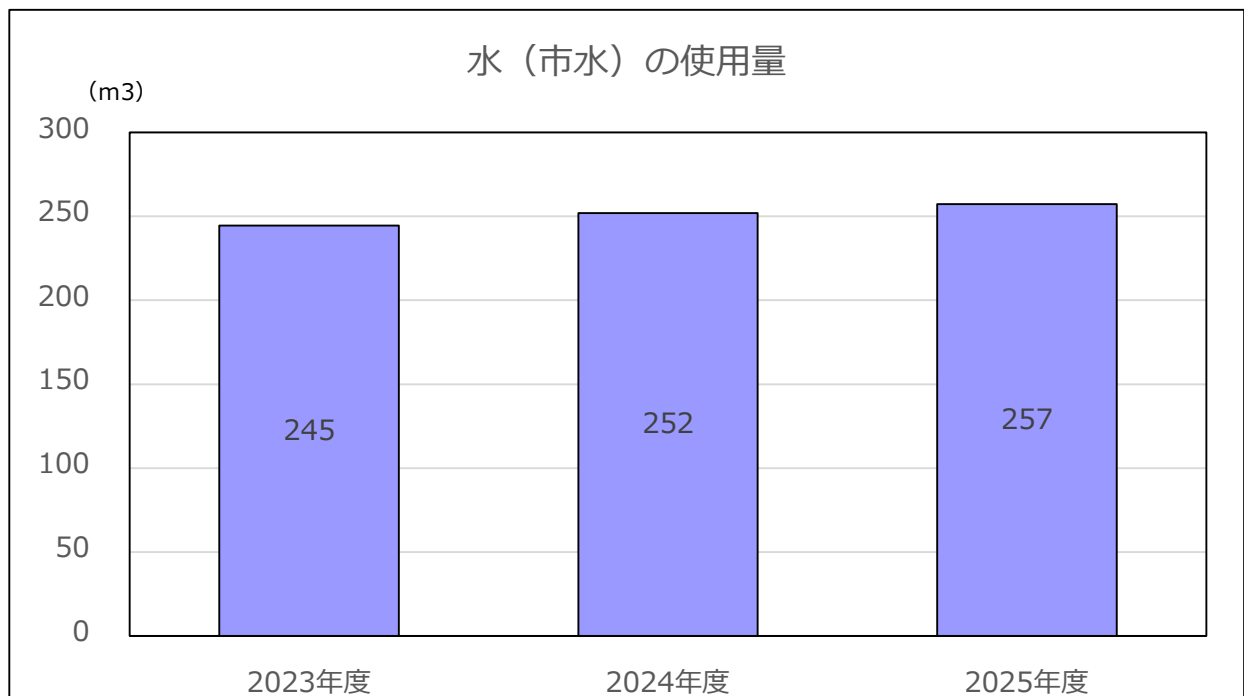


* 2023年度より二酸化炭素係数変更

電力：中部営業0.459kg-CO2/kWh（中部電力2022年度 調整後排出係数）

関東群馬営業0.390kg-CO2/kWh（東京電力2022年度 調整後排出係数）

関西営業0.434kg-CO2/kWh（関西電力2022年度 調整後排出係数）



7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

年次総合評価日：2026年4月23日

法規制など	対象	順守項目	基準	確認頻度	2025年度総合評価	備考
半田市環境保全協定	排水	pH	5-9	毎月	○	
		SS	25mg/ℓ以下	毎月	○	
		COD	25mg/ℓ以下	毎月	○	
		N-ヘキサン	2mg/ℓ以下	毎月	○	
	騒音	工場敷地境界	65db以下	毎年	○	
	振動	工場敷地境界	70db以下	毎年	○	
	緑化	緑化率	20%以上	都度	○	2018年提出から変更無し
工場立地法	敷地面積9,000㎡、又は建築面積の合計3,000㎡以上で製造業に係る新設、変更しようとする者	緑地率	20%以上	都度	—	該当なし
浄化槽法	保守点検	業者点検	—	毎月	○	
	定期検査（11条検査）	行政検査	愛知県薬剤師会	毎年	○	
愛知県条例 (県民の生活環境の保全等に関する条例)	騒音	特定施設の届出	原動機の定格出力が3.75kw以上の圧縮機・送風機	設置時	○	
	振動	特定施設の届出		設置時	○	
消防法	危険物関連	特定施設の届出	届出内容の変更時	都度	○	
	防火設備点検		業者点検	毎年	○	
フロン排出抑制法	冷凍機、空調機	簡易点検	自主点検	3ヶ月	○	
		定期点検 (7.5kW～50kW)	業者点検	3年	—	次回定期点検は2026年度
		回収依頼書/委託確認書 引取証明書	適正な運用 ※3年間保管	都度	○	
家電リサイクル法	TV、洗濯機、冷蔵庫、エアコン	—	適正な廃棄	都度	○	
小型家電リサイクル法	PC関連機器、デジカメ等	—	適正な廃棄	都度	○	
県外産業廃棄物搬入届出	岐阜県	汚泥	業者点検	毎年	○	
産業廃棄物の様式3号届出	愛知県・半田市	—	管理票の交付状況報告	毎年	○	
廃棄物処理法 (産廃物の適正処理の促進に関する条例)	産業廃棄物 保管基準の遵守	—	適正な保管	常時	○	
	管理票（マニフェスト）の運用	—	適正な運用 ※5年間保管	都度	○	
	委託契約書	—	適正な契約	都度	○	
	水銀含有品（蛍光灯、電池類）	—	適正な廃棄	都度	○	
化管法	化学物質（PRTR制度対象物質）	—	適正な保管	都度	○	
道路交通法	交通事故等による環境被害	—	業務上での交通事故等の発生時、 環境影響無き事	都度	○	

- ・ 環境関連法規などの遵守状況の確認 及び 評価の結果、違反はありません。
なお、関係当局より違反等の指摘はありません。
- ・ 外部からの環境に関する苦情、要望、訴訟もありません。

◆全体の評価と見直し

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し日：2026年4月1日

	項目		確認		必要に応じて評価・コメント記載
1、 見直し 関連情 報	1	エコアクション21文章	☒		前年より変更無し 継続
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒		大部分の項目において目標達成
	3	環境経営計画及び取組み実施状況	☒		問題無し来期も継続
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	☒		計画通り見直し行い、厳守状況問題無し
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒		指摘無し
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	☒		指摘無し
	7	取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部動向	☒		特に変化無し
	8	その他	☒		特に無し
2、 代表者 による 全体評 価・見 直し指 示	全体評価・コメント (EMSの有効性、環境への取組みの適切性等)		全体に生産部門は生産高の変動はあるも計画通り進行。 EMSは良好に機能していると判断できる。		
	見直し項目		変更の必要性		「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有	無	
	2	環境経営目標・計画	有	無	
	3	環境経営計画・取組み項目	有	無	
	4	環境経営に関する組織	有	無	
	5	その他のシステム要素	有	無	
	6	その他（外部への対応等）	有	無	

◆その他

活動トピックス

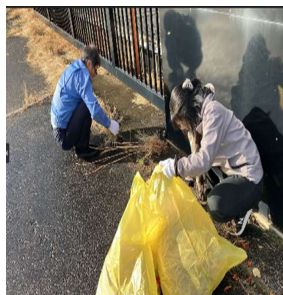
（１）社会貢献活動 ― 事業所周辺 清掃・美化活動

本社エリアは半田市の清掃・美化活動ボランティア「半田市公共施設アダプトプログラム」に参加し、2回/年 事業所周辺の草刈り・除草活動を行っています。

また、各営業所も1回/年 営業所周辺の美化活動を行っています。



本社エリア：草刈りボランティア



営業所エリア：美化活動
(中部営業所)

（２）訓練

- ・環境上の緊急事態時の訓練（油、石膏排水流出訓練）

当社は環境上の緊急事態として油、石膏排水の外部流出を想定しています。

これに対して、1回/年の訓練を実施し、環境に関する危機管理能力向上を図っています。



水門 開閉手順確認



油 ブラッシング除去訓練
(アースクリーンで希釈)



油、石膏排水流出対応備品の確認